（一）　昭和二十一年六月一日（第三種郵便物認可）　昭和二十二年十二月二十一日　いわき民報　夕刊　（日曜日）　第四百九十九號

いわき民報

發行所　いわき民報社
平市田町四丁目八番地　電話三八一番
編輯兼發行人　平野克己
印刷人　平野輝雄

（但月曜を除く）
定價一部五十錢　一月十五円

全國に率先して設置

平驛構内にDDTの撒布場を

殺しんチブスの豫防を主眼にノミやシラミ等の退治や公衆衛生の徹底を期するため平保健所では平驛にDDT撒布場を設置、全國にさきがけて乘降客や一般旅行者に撒布してやるほか平民を始め誰でも希望するものには無料で撒布してやることゝなつた、撒布場は今月中に設置、間に合へば月末から遲くも明春早々から實施する段取りでいるが、市民や一般旅行者達にとつては大きな福音として期待されている

正月用のモチ米配給

うれしや完全に見透しつく

平食營では来正月用のモチ米を年内に配給しようと輸送難の折柄八方努力中だが、縣からの割當一般用四百七十俵炭鑛用七百三十六俵の計千二百六俵が會津、相馬方面から着々昨今入荷中なので、現在の狀態では近く一般には二、五日分から三日分程度、炭鑛には三日分の配給が出來ようとの見透しもついたとのうれしい話である

興學　復興　村移　農農

明春期して小名濱に

農村の文化の啓發を期して縣では縣連青と協力、明春一月から三月の農閑期にかけて縣下各地で一ヶ所三日間の講定で農村復興移動大學を開設することに決したが、郡下では小名濱町に開催する、日取は未決定だが、講師は經濟教授聽絶教授その他各方面の學識經驗者を網羅して當ることになつている

木炭と鹽のやりくり

苦しい配給課

平市は3000俵

年の瀬も押し迫まり冬將軍の攻撃も手厳しい今日のこの頃、新正月を少しでも楽しく迎へさせ樣と市配給課では未だに十一月分木炭の受配を見ていないところもあるので、目下富岡方面の生産業者並に平驛輸送關係者側と交渉、出來得る限り年内に配給しようと大童になつている、市内六千世

明るい湯本町建設に

つぼみ會が街燈を新設して

湯本町横町青年會つぼみ會では驛から町に入る品川白煉瓦工場前は街燈一ツなく眞暗で温泉の街の玄關口として余りにもびどいし通行上危險でもあり、かつ防犯の上からもおもしろくないと、全會で一切を寄附、九ヶ所に街燈を新設することに決めた、暗い通設りがこれでパッと明るくなるというので全町民から大きな感謝をされている

給食記念日特別献立で

平第三校の計畫

二十日は連合軍の好意による學童給食の實施記念日にあたるので、平第三小學校では兒童達から給食に對する認識と感謝の念を深めさせる、その他各校でも感謝の作文やらその他を作らせることゝなつた

音樂乙女の募金協力

伊東興行部の義擧

花柳の登柳賢迪も

平驛前伊東興行部では共同募金に協力のため二十二日の電

地專賣局と交渉、自給製鹽の買付けの豫約交渉中である

新春上映の名畫

モスクワの音樂娘

内郷　第二イワキ

磐女磐中生の金募街頭

十九日は一万余円に

休日に慰安二回世界館で歌と踊と劇と奇術及び音樂の會を催すが、花柳一門の登柳會連中も特別出演するので人氣を呼んでいる、入場料は二十円である

市内中等學校生徒の共同募金協力の街頭進出は十九日から開始されたが、第一日の午前中の磐中生の募金は二千二百二円三十一錢であつたが午後の磐女生の收穫は何と九千百二十四円五十錢という巨額に達した

學徒結核豫防打合

平保健所では二十日午前九時から平驛會議室に郡下各中、青、新制中學校の衛生責任者を集め生徒の結核豫防に對する接種法等について種々打合せした

自轉車の尾灯入荷

夜間自轉車の事故を防止する爲、市財務課では先月、自轉車尾灯の豫約受付をしたがこの程現品入荷をみたので早速配受けるよう希望している、なお餘分もあるので申込まなかつた希望者にも譲る

縣下國際雄辯大會

あす平市公會堂日本間で驛催

平連青、縣連青及び在日本朝鮮民主青年同盟石城支部共同主催の縣下國際雄辯大會は二十一日午前十時から平市公會堂で開催する、出演は二十日までに左の通りに決つたが、このほかに中村から三名、郡山から二名、炭鑛關係から五六名が出演するので期待されている

渡邊與平、渡邊利興、松崎新吉（以上平）橋本政一、今泉正顯（以上郡山）高野健治（好間）野本孝司（大浦）鈴木仁一（草野）梅津利光（内郷）大内利夫（東北配電）皇甫賢朴成夏、金貞錫（以上石城）美宅甲、徐鎬柱、李龍水（以上磐島）

鯨岡訓導の準校葬

いたましいかな交通地獄の犠牲

綴驛で十八日惨死した内郷町小學校訓導湯本町裏町鯨岡達治さん（二三）の葬儀は二十日午後一時から準校葬により行れた、内郷町及び全小學校保護者會では十九日それぞれ協議會を開いて最大級の用慰方法を講じた、全訓導は非常に温厚な教育熱心な先生として學校でも保護者會側からも信頼されていたので、今回の奇禍は非常に同情されている、なお全訓導は全日朝列車で出發するので期待されているが出發らず混雑を極めているので車内に入ることが出來ずデッキ附近に坐して入つていたが、列車が綴驛構内に入る際、震動のため振り落されたものと判つた

いわき寸言

▽師走の風いよ〳〵冷たく殺伐な氣紙面を敬う、わびしき年の瀬かな

▽公安委員の選任近づく、色眼鏡はかたく禁物

▽眞面目な大衆に惡德を敎うる勿れ、さりとて奥いものにフタも考えるものバテ？、思案投首のほかに手もないが

▽正は常に邪に勝つポントです？だが力は常に正に必ず邪に勝つのはホントらしい

休電日變更お知らせ

毎度有難く御禮申上げます

電力量の割當は十二月から各戸別割當となりまして既に皆樣のお手許にお屆きの事と思はれます、足りない電力を有効に使うよう各位の御協力をお願い致します

なお來週（十二月二十一日）から休電日が左記の通り變りますから御承知願います

◇第一號地　毎週月、水、金曜

◇第二號地　毎週火、木、土曜

【註】第一號地は平、湯本、錦、勿來、磐田、大利各發電所より送電分第二號地は木戸、四倉、小名濱、小野新町各發電所より送電分

昭和二十二年十二月十八日

東北配電株式會社平營業所

需用家皆樣へ

近日開店　市ぜり

古濃洋服、布團並絹、自轉車、ラヂオ、家具、什器、墨表、皮類、電氣具、瀬戸物、金鎖時計、書畫、骨董

平驛前

伊東事務所内

委託販賣共同商會

〈孤兒物語〉しのわせの影

堤　信

それでも小學校の時には健康優良兒童として朝日新聞社。及び縣知事から表彰される光榮に浴した。小學校時代は私の家の全盛時代で祖父は町長長兄は町會議員と農業會長を兼ね特に祖父は阿仁地方の資産事業として奥羽線鹿ノ巣驛から阿仁台に至る三六㌔の間に鐵道敷設を計畫し郡内町村これに、地元民の協力を得て見事長い記錄の一頁を書く事が出來た完成は昭和十一年の春でうつそうたる原始林に鍬われた山間部にも文明の光が照り感激のるつぼと化した今では阿仁合線と呼んで郷土産業の振興開發と都會文化と地方文化の交流調和に貢獻しているのである全通式には中田鎌直代議士（追放）仙鐵局長兒玉縣知事（現秋田市長）本間縣警議員（後に貴族院議員）等中央地方の名士多數參列して或る鐵道の經營する阿仁資料女學校で盛大な記念式典を行つた。この日の特別來賓は郷土の大先輩民政黨總裁町田忠治氏（故人）であつた。祖父との親交厚く阿仁鐵道開通に中央政界の大篇所として、その協力を惜しまなかつた。陰の功勞者であつた。式典終了後名士招待の披露宴が私の家で一生一代の行事として行はれた。その日の入出約一萬人口四千たらずの町としては最大の祭典であつたのだ。とにかく祖父の社交性は政界の重鎮を對照として發展して行つた。年一回は必ず上京し小石川大塚の別荘で過ごすことを通例とした。祖父は民政黨長兄は政友會と政治觀念の對立が家庭不和を起す原因となることもあつた。父七十町歩にあまる田畑を小作人に耕作させた關係でだべず私の家と小作人との紛爭があつたその度毎に本署から警察官が一、二名派遣されて取締つた。店の帳場に居る長兄は農民組合の一リーダ面に哀傷した事もあつた。恐怖と搾作の交錯の中に鬱い爭ひが續いた。警官は地主の用心棒として働きそれに報ひる報酬も大きかつた。往年の闘士麻生久が來たのも故人になつてから祖父が話してくれた最近國會議事堂で田中參議院議員の紹介で秋田縣選出の田中建吉代議士（全農）に會つた時に昔小作爭議の應援で私の家に來た事もあると話され

高いとは容ばれない

物價にはとても追つけません

冷めたい驟走の風をよそに物價は眞夏の水銀柱どころか、天井知らずの上昇一途に大衆のなやみ果てないうちに1947年もあと旬日で過ぎ去らんとしているが、俸給生活者は越冬資金の要求、前借金の要求、等々にうき身をやつしている折柄勞務者の賃金はどうなつているか—現在の調べによると左のとおりで前月と大差ない、一見相當高いようにみえるが物價に較べるとまだ〳〵ものゝ數ともいえず、これでは折角自由販賣となつたとい え五百五十円の酒では新春を先づいつぱいの杯のかげから迎えようとの趣向も見果てぬ夢とするほかあるまいとのことではある（單位円カッコ内は常傭以外の日屋者）

大工一〇五（一三五）鳶職一三〇（一五〇）石工一三〇（一八〇）土工九五（八五）人夫七五（一二〇）コンクリート工一〇〇（一〇〇）雑員工五八（五八）トラック運轉手八五（八五）坑内夫八二坑外男八五（七六）全女八〇（六三）石炭以外の鑛山坑内夫七六、五全坑外男七四、八全女五四金鑛

物の値の調べ

年末押詰る勞務者賃金

工男七三、二全女三六機械器具一〇〇化學一一五電氣ガス八二（七二）窯業土石一一〇（五三、八）製材木工九七（五五）

白井藥伯本社に力作を寄贈

磐城白井三千夫氏は一二日本社を訪れ名畫一幅を本社新築祝に寄贈した。同氏は東京美術學校出身で舊文展及び帝展に各三回入選し大正十一年より昭和二年まで佛國西に洋畫の研究をした經歴があり、最近では水谷酉工大臣官邸用に舞踏の繪を買上げになつている

買出し男三名溺死

鮫川で小舟が風で轉覆して

鮫川町吳羽化學工場職工武藤豐（四六）ほか五名は鮫川を小舟で渡り植田町小濱からサツマイモ三六貫を買出して歸り十七日夜七時半頃風のため舟が轉覆、武藤ほか二名は辛くも岸に泳ぎついたが、加藤幸次郎（三〇）山田福太郎（三三）佐藤貞次（四六）は行方不明となり十八日朝水死体を發見した

上遠野村に

覇面二人組

現金六百円強奪

上遠野村馬場前無職津久井清一さん（三七）方へ十七日午前一時ごろ二十二、三才の覆面二人組強盜が入り裏女文江さん（一九）を短刀ようの物で脅迫現金六百円を強奪した

門專眼鏡
定指醫科眼各
玉屋
平市二丁目 TY 9 10 L

ミシン
販賣・修理・部品
平二丁目シンガー
イシカワ

外套盜まる

田村郡小野新町鐵道員佐藤良一さん（二三）十九日朝九時半頃平驛構内で作業中機關車の上に置いた外套を盜まれた

坑夫感電死

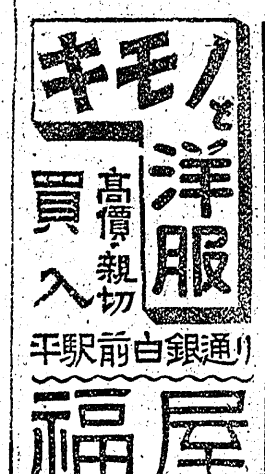
赤井村西小川日曹福島鑛相川坑採炭夫相川喜一さん（二一）は十七日午後零時頃坑内で作業中二百二十ボルトの電線に觸れ感電死

ピストルを所持し

郡山又村字蛭田佐藤諧（二二）—假名は拳銃を所持して四倉町海氣館に宿泊中を十八日平署員に銃砲所持禁止令違反で檢擧

部分品一式並修理は

橋本モーター商會
平市驛通白銀町



三井五郎

三井醫院
平市仲田町（電六一五）
內科
小兒科

各種ミシンの販賣と修理
平和通り
三浦商會ミシン部
電八四六番

レントゲン外科
內科
谷口醫院
平市二丁目四九（電八）

骨董
寶石
貴金屬
和洋服
高價買入れ
◇和洋服特に若向高價御報參上
平市南町平館西隣
中央會館
（電話九一五）

産科
婦人科
齊藤醫院
◇入院室完備◇
院長　齊藤正雄
平市南町電九〇二

たのは前田村の庄司家の爭議福島角三氏に嫁ぎ次女現佐子は日本女子大學を出て當時陸軍中尉の齋藤某（後少佐に進級關東軍參謀）に嫁した又祖父の弟は官界を辭（神奈川縣內務部長）で京都市第一助役に就任。長兄の嫁の主人は宮城縣警察部長から兵庫縣警察部長に榮轉し知事街道を順調に進む。祖父の次女の主人は名古屋の伊藤名經理部長になると云う風に身内の人々はそれ〴〵社會的地位を築いた從つて私の生活も順風に帆を上げたように父母のことは勿論一切の過去は私の腦裡には未練のない遺物であつた。悲しさも寂しさもない。遊惰の生活に馴れて來ると自然の神祕的は美しさにも人間の聖らかな心の働きにも無關心になつて來た此ようにして刻々迫り來る愛の危機に無頓着なく惠まれた私の現實を讃へた。

大倉海上火災保險品川支店長は日本女子大學を出で當時陸軍中尉の齋藤某（後少佐に進級關東軍參謀）に嫁した又祖父の弟は官界を辭（神奈川縣內務部長）で京都市第一助役に就任。長兄の嫁の主人は宮城縣警察部長から兵庫縣警察部長に榮轉し知事街道を順調に進む。祖父の次女の主人は名古屋の伊藤名經理部長になると云う風に身内の人々はそれ〴〵社會的地位を築いた從つて私の生活も順風に帆を上げたように父母のことは勿論一切の過去は私の腦裡には未練のない遺物であつた。悲しさも寂しさもない。遊惰の生活に馴れて來ると自然の神祕的は美しさにも人間の聖らかな心の働きにも無關心になつて來た此ようにして刻々迫り來る愛の危機に無頓着なく惠まれた私の現實を讃へた。